



くりみっ子

令和4年10月13日 <第6号>

東近江市立能登川北小学校

<http://www2.higashiomi.ed.jp/notkitasho/>

文責 校長 北村 定治

学校教育目標 共に高まり合い、心豊かにたくましく生きる児童の育成

毎日が楽しい北小学校にするために

今年度も半分が過ぎ、折り返しです。9月は昨年度のような緊急事態宣言が出されることはなく、各学年の特色を生かした学習や校外学習がしっかりと実施できる月となりました。



本校の少人数を生かした教育活動を紹介します。子どもたちみんなの絆を深めることを目的に取り組む『わくわく元気ッズ』です。内容は、たてわりのドッジボール大会です。代表委員会で提案が行われた後、2週間の取組期間の中で、中休みや昼休みを使って1～5年生の子たちに6年生が中心となって投げ方や受け方を教えていくのです。短時間ではあるものの、低学年がボールを投げたりキャッチしたりするたびに、「すごーい!」「上手!」と声をかけている高学年の姿が、何とも微笑ましいものでした。このような取組をしているうちに、ボールを投げられるようになった子やドッジボールの面白さを感じる子も出てきました。

さらに、この取組の中で注目すべきことがもう一つあります。それは4年生、5年生のリーダーとしての自覚が高まったことです。ちょうどわくわく元気ッズ本番の前日と前々日は6年生が修学旅行でいない状況でした。この空白の2日間をどう過ごすのが気になっていたところ、5年生が話し合っ、「2日間練習をしないのは、低学年の子たちも不安になるかもしれない」という判断から、5年生がリーダーとなって練習をすることになりました。また、前日準備をどうするかを相談していたところ4年生が「ぼくらが手伝う」と言い、4年生と5年生でドッジボールコートのラインをひいたり、司会進行の打ち合わせをしたりしたので



そして本番当日、全6チームが3試合ずつ行い、その結果で順位を決めました。1試合目から子どもたちは盛り上がりを見せ、高学年がキャッチしたボールを低学年に渡したり、低学年でもしっかりボールを投げて当てたりする姿が見られました。最後の結果発表では、優勝したチームが喜ぶ中、他のチームが拍手を自然にする姿が見られました。また、最後に6年生の代表児童が「今日のドッジボールは、勝ち負けではなく絆を深めることが目的です。負けて悔しかった人もそんなに落ち込まないでください。そして、6年生がいなくてもこうして4、5年生が進めてくれてありがとう」と話しました。さらに、会が終わった後それぞれのグループが集まって振り返りを行う姿も素晴らしかったです。このように、わずか半年で、4、5年生が学校を動かし、6年生がアドバイザーになるという姿に、子どもたちの成長を感じました。そして、子どもたちの目指す『みんなが協力 遊びも授業も 毎日が楽しい 北小学校』に向かっていることを感じました。



水害を想定した避難訓練を行いました

8月30日の2校時に、今年度2回目の避難訓練を行いました。この日は河川氾濫による浸水を想定した避難訓練です。本校の近くには愛知川があり、その堤防が決壊したという想定で、屋上へ避難しました。避難後、防災アドバイザーの今井さんから、かつてこの近くでは、明治29年、昭和13年、平成2年と、3回の水害があったというお話がありました。最後の水害から30年あまり被害は出ていませんが、今の地球温暖化による災害の深刻化が、想定を超えた被害をもたらす可能性があります。みなさん一人一人の命を守るため、家庭でも今日の避難訓練を受け、水害に備えてどんなことができるかを話し合ってみてください。



能登川交通安全推進大会が行われました

9月3日(土)、能登川コミュニティセンターにおいて、能登川交通安全推進大会が行われました。今年は能登川交通安全会設立50周年の記念大会でもあります。この会の中で、能登川4小学校と中学校の代表が交通安全の作文を発表する場がありました。本校も学校を代表して6年生の河合匠君が「みんなに伝えたい交通安全の話」と題して発表しました。どの子の内容も自分の体験をもとにしたメッセージ性のある作文で、一人一人が自分の言葉で伝える素晴らしいものばかりでした。会場で聞いていて心に響くものがあり、改めて交通安全の大切さを感じました。その後、東近江警察署から最近の交通事故状況のお話や、アトラクションとして滋賀県警察音楽隊の演奏が披露されました。みんなが懐かしい気持ちや元気になれる演奏でした。



4年生やまの子学習 9月13日(火)

多賀町にある高取山ふれあい公園へ行きました。現地につくと開校式・オリエンテーションを行い、森で働いている方の仕事を見学しました。森の木を守ったり育てたりするために、雪起こし、草刈り、間伐、枝打ちなどを行っていることを学び、目の前で枝打ちの様子を見学しました。そして、全員で間伐の実習を行いました。その後、森林ウォークを2グループに分かれて行いました。指導員の方が立ち止まりながら、いろいろな植物の名前や特徴を教えてくださいました。20種類近くの植物について子どもたちの興味がわくようにお話をしてくださいました。

午前の最後は、のこぎりでの丸太切り体験です。全員が交代でスギとヒノキの丸太をのこぎりで切る体験をしました。全員が声を掛け合いながらやり切りました。昼食を食べた後は、森のはたらきについて学ぶ保水力実験を見学しました。この実験を通して、森には①災害を防ぐはたらき、②水をたくわえるはたらき、③生命をはぐくむはたらきがあることを学びました。その後、午前中に丸太切りで切った木材を台にして木工クラフトにチャレンジしました。一人一人が自由な発想で自然の材料や自分で集めたものを使って作品に仕上げました。どの子も、今日一番の宝物として持ち帰りました。このようにして、森の中で一日生活しながら森の様々なことについて学ぶことができました。



1年生校外学習 9月16日(金)

1年生が河辺いきものの森へ校外学習に行きました。まず、森の先生から森の生き物の話を聞きました。森の中には学校にはいない虫や動物がたくさんいるので、子どもたちは興味津々です。その後、クイズラリーをしました。森の先生と一緒に森の中を歩きながら、クイズに答えます。森の中に答えがあるので、子どもたちは目で見たり、触ったりしながら真剣に考えていました。

次はもりもりたんけんです。4つのミッションに挑戦です。虫を触るのが苦手な子も森の先生に持ち方を教えてもらい、触ることができるようになりました。そして子どもたちが楽しみにしていたお弁当です。自然の空気を吸いながらおいしくいただきました。午後からは探検中に拾ったどんぐりを使ってどんぐり工作をしました。どんぐりごま、どんぐりまん、やじるべえ、どんぐりネックレスの中から作りたいものを選び、作りました。その後、自分たちで遊び方を考えながら作ったものでたっぷり遊びました。終わった後に「どやった?」と聞くと、どの子も「楽しかった」「また行きたい」「もう一回たんけんしたい」と満足気でした。学校ではできないことをたくさん体験でき、充実した1日となりました。



2年生校外学習 9月21日(水)

台風一過の爽やかな日となった9月21日(水)、2年生が校外学習に行きました。行き先は長浜の「ヤンマーミュージアム」です。コロナ禍も影響し、今まで電車に乗った経験がない子がほとんどです。はじめての切符購入にドキドキしながらちょっとバスへ乗車しました。バスの中では、優先座席のことについて事前に学習していたこともあり、おばあちゃんが乗車すると「どうぞ」と席をゆずる姿が見られました。JR能登川駅につき、一人一人が切符の購入体験をしました。

電車の中では、座ることもでき、電車から見える風景を見たり、次の駅をあてたりしながら楽しんでいました。米原駅では構内見学をしました。掲示板やSOSボタン、点字ブロックなどみんなが安全に安心して乗れる秘密や工夫を探しました。また、駅員さんのお仕事にも興味をもち、実際に話しかけ「車掌さんは福井県から来たこと」「運転の難しさ」など突撃インタビューをして話を聞きました。電車の連結作業も様子の間近で見せていただき、子どもたちはとても喜んでいました。

長浜駅から歩いてヤンマーミュージアムへ到着です。館内でみんな揃ってお弁当タイムです。子どもたちは本当にうれしかったのか、お弁当の時間はとびっきりの笑顔でした。その後、ヤンマーの100年以上受け継がれてきた歴史を映画で見た後、チャレンジエリアでいろいろなコンテンツを体験しました。アスレチック、パワーショベル体験、プレジャーボートの操船体験、フットボールチャレンジなどなどたくさんのコンテンツがありました。ほぼ貸し切り状態で、待ち時間がなくすべての体験を楽しむことができました。子どもたちは、いつもの学校での学習とは違う過ごし方をして、とても楽しかったようです。



6年生修学旅行 9月28日(水)、29日(木)

学校を出るときはあいにくの雨模様でしたが、奈良に向かうにつれ天候が回復し、最初の目的地である法隆寺に着く頃には晴れて暑さを感じるほどになりました。法隆寺では、西円堂の千手観音立像を間近で見ることができました。子どもたちは一人一人がタブレットを取り出し、自分が撮りたいと思った風景を写真や動画におさめていました。その後、奈良公園内にある昼食場所へ移動し、昼食をとりました。みんなお腹が減っていたようでカレーライスをきれいに食べ終わり、お買い物タイムに向かいました。



昼食の後は奈良公園内のウォークラリーです。まず全員で東大寺の大仏を見学しました。子どもたちはその大きさに圧倒されていました。大仏殿から出ると班別のウォークラリーです。それぞれの班が問題を解きながら最後興福寺に集合します。この学年の面白いのは、最初ループごとに問題を解いていたのですが、いつの間にか全員で問題を解いて行こうということになったところです。子どもたちの仲の良さを感じました。また、外国の人へのインタビューも全てのグループがチャレンジし、アメリカ、イギリス、イタリア、ドイツなどの国の人たちと英語で会話することができました。時間通りにゴールし、猿沢の池のそばにある店で



お買い物です。どの子も、限られたお小遣いの中で、色々考えながら家族や登校班の在校生などへのお土産を買っていました。



お土産を買って今日一日の活動を終えた子どもたちと、今日泊まるホテルへ向かいます。子どもたちは再びテンションが上がります。とってもきれいなホテルに子どもたちは感動。さらにホテルのご厚意で屋上から奈良市内の展望ができました。屋上から今日の活動で行った東大寺、興福寺の五重塔、平城京跡の風景を眼下に一望することができとても貴重な経験をしました。そして夕食です。和洋折衷のコース料理では、次々に出てくる料理に子どもたちは驚きと共に大変満足な様子でした。中にはご飯を何杯もおかわりをする子もいました。子どもたちは、通常の大部屋ではなく、ツインルームへの宿泊にも喜んでいました。

修学旅行2日目は、天候もさわやかな朝となり申し分ありません。全員元気に朝食をとり、ホテルを後にして目的地「キッザニア甲子園」に向かいました。全部で94あるパビリオンの中から自分のやりたいアクティビティを選び、30分～1時間程度の仕事の体験をして報酬(キッツ)をもらいます。そのキッツを銀行に預けたり、買い物をしたりと実際の職業体験ができます。本校の子どもたちも、始めはどのアクティビティを選ぶか迷いましたが、だんだん慣れてくると次々に自分で考えて行動するようになりました。多い子で5つのアクティビティを体験しました。人気だったのはゲーム会社、パソコン工場、電車、演劇などです。中には裁判所や水道施設などもありました。どの職業もしっかり職業観をもって体験が仕組まれているので、子どもたちにも学びがあります。帰るころには、体験したことを話したり、成果物を見せ合ったり、キッツを数えたりするなど、満足感の高い一日となりました。このようにして、2日間の修学旅行は終了しました。ご協力いただきました、保護者のみなさんありがとうございました。



非認知能力を育てる ～自己表現できる子どもを育てる～

◎親子の信頼関係が人前で話す自信をつける

「表現できる」という自信があることが大きな土台になります。子どもの話を遮ったり、無視したり、正しいか正しくないかを判断したり、意見を押しつけないことが大事です。子どもの意見によく耳を傾けることから、彼らの自信は生まれます。

◎小さい頃から、いろいろな人と出合わせる

日本人は、他者と協力して問題を解決する協働性に優れています。2015年に行われた、経済開発機構(OECD)のPISA(学習到達度調査)の内、「協働問題解決能力調査」で日本は、OECD加盟国32カ国中で1位でした。日本は村度の国。一民族だから、分かり合えた部分はあるのでしょうか。しかし、これからは国際社会。自分の考えを伝えなければやっていけません。



◎子どもにとって、遊びは酸素と同じくらい大切なもの

アメリカの「遊びの研究」創始者、内科医・精神科医でもあるスチュアート・ブラウン博士は、6000人の子どもを対象に遊びと成長の調査を行い、遊びが人間の様々な面によい影響を及ぼしているという結論を得ました。

お茶の水女子大の内田伸子名誉教授(発達心理学)らが20代の社会人の子どもをもつ保護者1000人ほどにアンケート調査を行ったところ、「小学校入学前の子育てで意識していたこと」という質問に対して、偏差値68以上のいわゆる「難関大学」に合格した子どもの保護者の35.8%が「思い切り遊ばせること」と答えています。(そうでない子の保護者は23.1%)、「好きなことに集中して取り組ませること」と回答した難関大合格の保護者の割合は24.1%(そうでない子の保護者は12.7%)でした。

ペンシルバニア州カッツタウン大学の初等教育の専門家スーザン・ミラー教授によれば、子どもは生まれながらにして、遊びから問題解決能力を学んでいるというのです。



◎遊ばない子どもは犯罪に走りやすくなる傾向も

1967年にデビッド・ウエイカート教授らは、ミシガン州の貧困地域で3つのグループの子どもの遊びと学習達成度の関連を調査しました。

1つ目は、「遊び中心」の伝統的な保育園。2つ目は大人も少し介入する保育園。3つ目はワークシートやテストで早期教育を行う「知識中心」の保育園。

家庭でもそれぞれ保育園と同じような姿勢で接するよう親にも指導をして、その後の学習到達度を調査しています。3つ目の「知識中心」の保育園の子どもたちが最初こそ優位だったものの、すぐに学力差はなくなりました。そしてこの調査の特異な点は、子どもたちが15歳時、23歳時まで長期的で多面的に追跡調査をしているところです。

驚くのは、「知識中心」グループの人が15歳時まで不正行為を行った確率が、他のグループの平均の2倍もあったのです。また、23歳児までに犯罪者になった確率は39%もありました。他のグループの3倍も多い数値であったのです。

脳科学の分野でも、幼児期に十分遊ぶことなく早期教育で知育偏重になった子どもたちは、早い時期に学習意欲をなくしやすいとか、精神的に不安定になりやすいなどの研究結果があります。

◎子ども同士で遊ぶことの重要性

モンタナ州立大学のある研究によれば、子どもの脳の75%は生まれた後に成長します。その成長を助けるのが遊びなのです。なぜなら、遊びは楽しく、自発的に行われるものですから。その時、大きな集中力を発揮し、問題解決能力や何かをやり遂げる実行機能、周囲と力を合わせる協働能力、失敗から学ぶレジリエンスなどの非認知能力を身につけていくのです。

◎外遊びは子どもの脳の発達には不可欠

日本のある研究によれば、自然の中で遊ぶ機会の多かった子どもの方が、自己肯定感が高い傾向にありました。身体を思いっきり動かすと、ドーパミンやセロトニンというホルモンが脳内に分泌されますが、それは幸せホルモンとも呼ばれるものです。脳内がポジティブな気持ちで満たされ、心身共に回復力が増すとされています。

日本では、外で遊ぶ機会がどんどん減っています。サッカースクールを運営する株式会社クーバー・コーチング・ジャパンが2017年7月に小学生の子どもをもつ保護者287名に対して「子どもの放課後の過ごし方」を調査したところ、親が小学生の頃と比べて現在の小学生の外遊びが減少したと思う割合は92%にも達しました。

理由として1位がテレビゲームやカードゲームなどの「屋内遊戯の充実」、2位がボール利用の禁止や自転車乗り入れ制限などの「公園ルールの厳格化」、3位が「習い事で忙しい」というものでした。

外遊びは失敗を経験させるよい機会にもなります。遊びの中での失敗は失敗ではなく、うまくいくための試行錯誤の機会に変わっていくのです。

親が「あれは危ない」というと、子どもの中に限界がつけられてしまいます。

くりみフェスタの実施について

10月15日に3年ぶりに「くりみフェスタ」が開催されます。感染対策を行いながらのため食べ物の提供はありませんが、射的やストラックアウトなどのチャレンジ系のコーナーが設置されます。

日時 令和4年10月15日（土）8：45
 場所 本校体育館および周辺
 内容 開会セレモニー
 校内音楽発表会
 能登川中学校吹奏楽部演奏
 チャレンジタイム
 射的、釣りゲーム
 ストラックアウト フライングディスク
 輪投げ など
 作品、写真展示
 閉会セレモニー

おねがい 体育館での感染予防対策のため、参観者を各家族に1名とさせていただきます。

6年生がチンゲンサイを販売します

6年生では、野菜の生産活動に取り組んでおり、2学期はチンゲンサイを育てる計画をしています。その販売を、下記の日程で予定しておりますので、よろしければご利用ください。

期間 10月30日（日）
 11月6日（日） の2日間

場所 愛菜館（大中町）
 販売時間 9：15～11：15
 ※商品がなくなり次第終了します。
 ※コロナの感染状況やチンゲンサイの生育状況などにより変更があるかもしれません。



10月の主な行事予定

1	土	メディアコントロールデー 家読の日
3	月	標準服移行期間（～15日）
4	火	4年アウトリーチ事業 避難訓練 スクールガード講習会
5	水	フッ化物洗口 5年琵琶湖環境学習
6	木	2年能登川図書館見学
7	金	委員会⑥ 第2回学校評価委員会
10	月	旗スポーツの日
11	火	5年琵琶湖環境学習②③④
12	水	フッ化物洗口 5年ものづくり教室③④
13	木	たてわり遊び
14	金	5年琵琶湖環境学習①～④
15	土	くりみフェスタ（校内音楽会） 校区メディアコントロールデー 家読の日
17	月	振替休業日
18	火	4年食育③ 4年夢授業②バイオレッツ
19	水	フッ化物洗口 5年フィールドワーク 2年栗見新田町探検
21	金	教育相談日 にこにこ学習
24	月	3年生 CAP
25	火	集団下校 15：10
26	水	フッ化物洗口 諸費振替日
27	木	就学時健康診断 13:00
30	日	6年生チンゲンサイ販売（愛菜館）

11月の主な行事予定

1	火	メディアコントロールデー 家読の日
2	水	フッ化物洗口
3	木	旗文化の日
4	金	委員会⑥
6	日	6年生チンゲンサイ販売（愛菜館）
8	火	5年食育③
9	水	フッ化物洗口 授業参観⑤ 親子芸術鑑賞⑥
10	木	6年食育③④ すいすいデー日課 15：10下校
11	金	たてわり遊び
12	土	PTA資源回収
13	日	PTA資源回収（予備日）
15	火	メディアコントロールデー 家読の日 6年4小学校合同アンサンブル鑑賞会 5年食育③
16	水	フッ化物洗口
17	木	5年校外学習
18	金	クラブ活動⑥ にこにこ学習 教育相談日 教師読み語り
22	火	中学校区研究会のため 15:00 下校
23	水	旗勤労感謝の日
25	木	くりみっ子マラソン大会
29	火	くりみっ子マラソン大会（予備日）
30	水	フッ化物洗口

※予定ですので、変更がある場合があります。